

ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ

株主の皆さまの日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

去る6月23日に開催されました当社第60回定時株主総会および取締役会において、私、^{はまた}濱田 ^{ひろのり}広徳が代表取締役社長に選任されました。ご挨拶申し上げますとともに、2022年3月期の期末報告書をお届けいたします。

当期は新型コロナウイルス感染症の拡大防止策であるワクチン接種が進み、経済活動は正常化に向けて一歩を踏み出しました。ただ、感染再拡大や地政学的リスクに対する懸念材料もあり不透明な状況が続いています。

情報サービス産業においては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策等に加え、テレワーク関連の需要も底堅く推移しました。IT投資は回復傾向にありますが、コスト抑制姿勢は根強く、経営環境は厳しさが継続しました。

当社では提案活動の強化により、お客様との綿密なコミュニケーションを図り、新規案件の獲得や既存案件の追加受注に注力した結果、当期も増収増益を維持することができました。株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社をご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

濱田 広徳

OUR VISION AISビジョン

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。

代表取締役社長

はま だ ひろ の り
濱田 広徳

1985年4月 当社入社
 1999年6月 当社取締役
 2017年1月 当社常務取締役
 2022年6月 当社代表取締役社長



Q1 新社長に就任されました。株主の皆さまに自己紹介をお願いします。

A1 私は1985（昭和60）年に新卒で当社に入社しました。プログラマーとして最初に配属されたのが、ある電機メーカーの中央研究所でした。そこでUNIXのOS開発を担当しました。大学は文系でしたので、コンピュータについては一からの勉強でしたが、そこでの4年間は何物にも代えがたい経験となりました。いまだに交流が続いている方々もいます。

1995（平成7）年4月の店頭登録においては、本社の総務担当として、主幹事証券や監査法人の方と各種規定の整備や株式公開の準備に携わりました。当社の歴史を紐解くところから始まり、貴重な経験をさせていただきました。

その後、役員になるまでの間、経理を除いて総務・人事・営業などをひとつおりの経験し、創業者とも身近に接する機会を得ました。創業者からは数多くのご指導をいただきましたが、なかでも「メリハリのある評価を行うこと」「事なかれ主義に陥らないこと」の重要性を折あるごとに話されていたことが、強く印象に残っています。若い社員も多く、会社の将来に危機感をもっておられたのだと思います。これまでに学んだ創業者の精神は、次世代にもしっかりと伝えていきたいと考えています。

田中前社長のもとでは、創立50周年を機に策定された「AISビジョン」の定着に努めました。新たなステージに向かっていくために必要な企業理念・経営方針・行動指針などを定めたものです。

私自身は「桜梅桃李（おうばいとうり）」という言葉が好きです。これからは“人材の多様性”の推進が重要となります。一人ひとりの個性を大切に企業運営を心掛けたいと考えています。

Q2 この1年の振り返りと今後の目標についてお聞かせください。

A2 業績は順調に推移しています。主要3事業をみると、ネットワークサービスはアウトソーシング案件の取引拡大とともに、お客様への提案活動を強化しました。その結果、クラウドサービスやセキュリティ関連に加えてテレワークの広がりによるインフラ関連も底堅く、前期を大きく上回っています。システム開発は業務系アプリケーション等の案件獲得に努めましたが、コロナ禍の影響から一部で開発案件の延期や縮小などが発生し、前年比で若干のマイナスとなりました。システム運用は汎用系の運用ニーズの縮小とともに価格下落が継続し、ネットワーク系技術への移行を進めています。

今後の日本経済は、脱炭素とデジタル化がキーワードとなり、デジタル技術を事業変革に活かすDX（デジタルトランスフォーメーション）の動きも加速しています。従来に比べると作業時間もコストも低減できるアジャイル手法は、スピード感をもってDXを推進していくために欠かせないものとされています。当社は、アジャイルの技術者育成に力を入れており、お客様のご要望に沿った対応に努めております。

これらを踏まえ、本年度から新たな中期業績目標を掲げています。2025年3月期までの3年間で、売上高14,150百万円（9.1%増）、営業利益1,360百万円（9.0%増）、営業利益率9.6%の達成を目指します。

Q3 東証の市場区分が変わりました。あらためて抱負をお願いします。

A3 2022年4月の東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場に上場することとなりました。将来、プライム市場を目指すには、株式の流動性を担保できる時価総額が課題となります。また、最近では環境・社会・ガバナンスの取り組みも重要になっています。当社は昨年12月に「サステナビリティ基本方針」を策定し、注力すべき課題を整理しました。今後は国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）とも連動させ、より信頼される企業を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

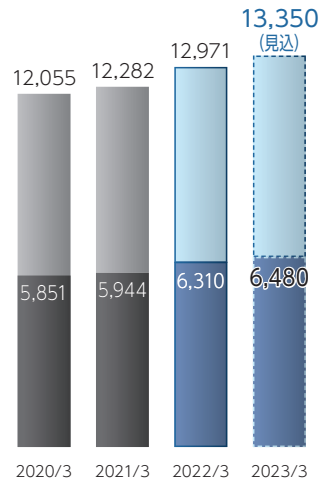
当社は本年8月7日をもちまして創立60周年を迎えます。それを記念して1株当たり3円の記念配当を実施することとし、2022年3月期における1株当たり期末配当金は、普通配当20円50銭に記念配当3円を加え、合計23円50銭とさせていただくこととしました。中間配当19円50銭を含めた年間配当金は、前期から3円50銭増配し、43円となります。なお、2022年3月期より、優待制度を拡充し、500株以上の株主様には3,000円相当のカタログギフトを、1,000株以上の株主様には7,000円相当のカタログギフトを贈呈しております。

株主の皆さまには、引き続き当社の事業をご理解いただくとともに、末永くご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

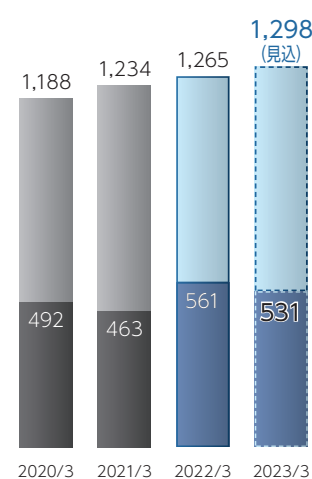
売上高

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



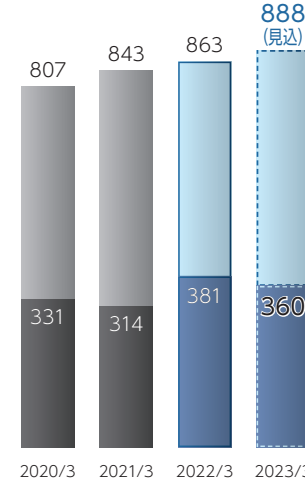
経常利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



当期純利益

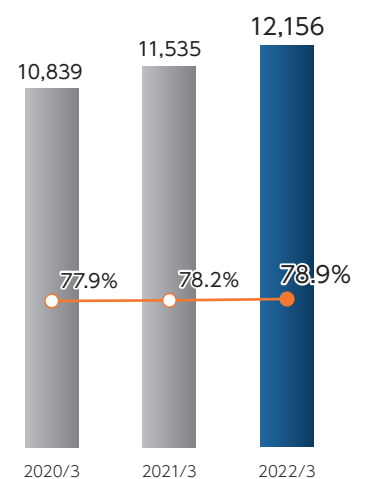
単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



総資産 / 自己資本比率

単位：百万円

● 自己資本比率

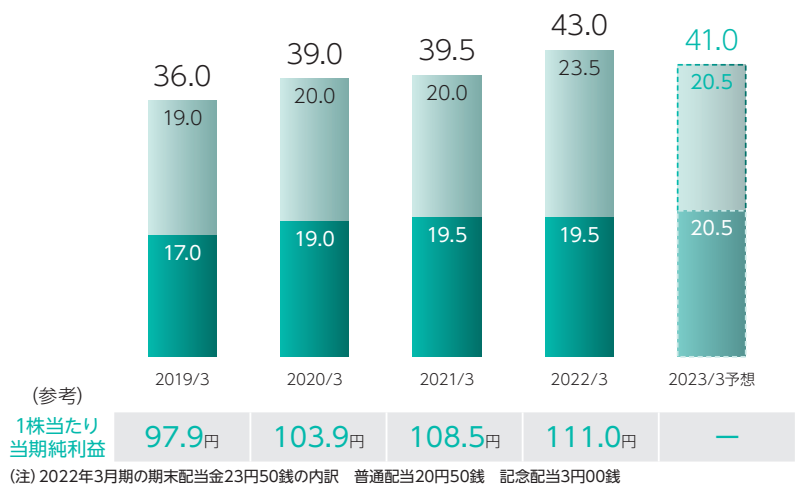


DIVIDEND 配当金

配当金の推移

単位：円

■ 中間 ■ 期末

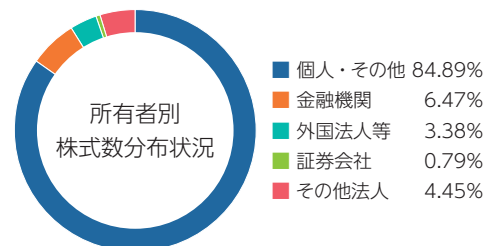


SHAREHOLDERS INFORMATION 株式の状況

株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	4,272名

株式分布状況



CORPORATE DATA 会社概要

会社概要

(2022年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,653名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

役員

(2022年6月23日現在)

代表取締役社長	濱田 広徳
常務取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役	田茂 義之
取締役	水島 克典
取締役相談役	田中 博
取締役(社外)	岩田 守弘
取締役(社外)	菱山 玲子
常勤監査役	上関 孝昭
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役(社外)	清水万里夫
監査役(社外)	久保 英資

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

● 証券会社に口座をお持ちの株主様

お取引の証券会社にお問合せください

● 証券会社に口座をお持ちでない株主様

左記電話照会先にお問合せください

● 特別口座の株主様
株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、年1回の株主優待を実施しております。(毎年5月発送)

贈呈
基準

毎年3月31日現在で、**500**株以上お持ちの株主様

優待
内容

保有株式	優待内容
1,000株以上	カタログギフト7,000円 または日本赤十字社への寄付
500株以上 1,000株未満	カタログギフト3,000円 または日本赤十字社への寄付



寄付について

株主様のご意志により社会貢献活動にご参加いただけるよう、寄付項目を設け実施させていただきます。寄付金は、日本赤十字社が行う災害救護や新型コロナウイルスなどの感染症拡大防止、防災・減災の教育などの活動資金に活用されます。寄付項目を選択いただいた株主様、優待品の受け取りを事前に辞退された株主様、カタログギフトの申込期日までにお申し込みをいただかなかった株主様につきましては、優待品の発送に代えて、その相当金額を上記活動団体へ寄付させていただきます。

<寄付に関するご留意事項>

- 必要経費を除いた金額を、旭情報サービス名義にて、日本赤十字社に寄付させていただきます。
- 領収書、その他の寄付を証する書面等は発行いたしませんのでご了承ください。
- 株式会社ハーモニックよりお礼状をお送りさせていただきます。

旭情報サービス株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F
<http://www.aiskk.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。